

(公財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

新年おめでとうございます。

今回は旧暦12月13日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 3月、第4回日本ヘルスケア学会年次大会・日本ヘルスケア協会活動発表会がリアルで開催されます。

日本ヘルスケア協会は、3月17日（金）・18日（土）の両日、明治大学駿河台キャンパスを会場に、3年振りとなるリアル大会を開催いたします。コロナ禍のため、2021年9月、2022年9月とWEB開催を余儀なくされました。今回も公益認定を受けてから初の記念大会としてリアルの開催を予定します。

まず初日冒頭の基調講演としては、地域創生医として、人口最少県最少町である鳥取県江府町に拠点を移し、町当局と連携して、相互に関連し依存し合っている人の健康と社会・地球の健康の関連性を捉え直し、全体の健全性を実現していく活動のリーダーシップを取られている桐村里沙医師を迎え、パネルディスカッションとともに、「プラネタリーヘルスケア」を論じて頂きます。



また2日目、3会場で同時開催される「教育講演」9題としては、①（一社）人とペットの幸せ創造協会・越村義雄会長による「ペットとの共生とヘルスケア」、②ごはんが食べたい歯科・齋藤貴之院長による「在宅歯科診療の現状と将来」、③株式会社スギ薬局・杉浦伸哉常務取締役による「管理栄養士の栄養指導活用」（以上、アカデミーホール）、④弘前大学・青山正和名誉教授による「植物生育と腐植物質」、⑤（一社）日本薬業研修センター医薬研究所・堀美智子所長による「ファーストエイド普及の重要性と課題」、⑥Woman's・阿部エリナ代表取締役による「女性のヘルスケア」（以上、ビクトリーフロアA）、⑦獨協医科大学埼玉医療センター・井手久満教授による「セルフチェックの重要性と課題」、⑧東京大学医学系研究科・岩坪威教授による「アルツハイマー病の超早期診断から認知症克服に向けて」、⑨法政大学大学院・玄場公規教授による「健康経営普及の現状と課題」（以上、ビクトリーフロアB）（演題はすべて仮題）が行われます。いずれも当協会が、わが国ヘルスケア推進のために取り組むべき喫緊の重要テーマと捉えている課題を最も相応しい論者に論じて頂くものです。なお、各会場での講演内容は事後に、開催報告書としてまとめ、参加者に送付する他、全国の県立図書館等に納本の予定です。

さらに、2日目掉尾を飾るのは、「『健康』で築くまちづくり」と題して、健康概念によってまちぐるみの健康政策の推進を先導されている東京・中野区の酒井直人区長ならびに地域包括ケア推進担当の藤井多希子部長による特別講演があります。

この他、事前公募による口頭発表8題、ポスター掲示・示説（優秀発表の表彰）、協賛団体報告、関係官庁報告、ヘルスケア関連機器・製品・サービスの展示等を準備しています。

詳細は、当協会ホームページのご案内をご覧ください。

2. 野菜で健康推進部会はセミナー「土食同源～土壤と健康を繋ぐ微生物たち」を開催します。

野菜部会は、健康的な体づくりは健康な野菜から、健康な野菜は健康な土壤から、の視点に立ち、土づくりと野菜と健康とのつながりを「微生物」という観点から読み解くオンラインセミナーを、1月12日（木）14:00～15:30に開催します。講師は同部会構成員の山谷雅和氏（ワケンビーテック株式会社執行役員、榎原伸泰氏（榎原農園代表）です。参加申込みはサイト（Peatix）からお願いします。